



2024年7月19日

各 位

会社名 サンネクスタグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 高木 章
(コード番号 8945 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務グループ長 田中 俊治
(TEL. 03 - 5229 - 8839)

「取締役会の実効性評価」結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を確保し機能向上を図ることを目的として、2024年6月期（以下「本年度」といいます。）も「取締役会の実効性評価」を実施いたしました。

その結果の概要を下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 本年度の評価の方法・進め方について

当社は、2020年7月1日付で持株会社に移行しグループガバナンスを強化するとともに、取締役会の監査・監督機能のさらなる強化を図るべく同年9月25日開催の当社第22期定時株主総会のご承認のもと監査等委員会設置会社に移行し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図っております。

- (1) 本年度の評価を実行するに際して、2024年3月度取締役会において、近時の「取締役会実効性評価の実施動向」や英国等の海外最新情報を確認しました。
その確認のもと、取締役会の実効性評価において、「形式的課題」（例：資料の事前配布時期等）から、「実質的課題」、すなわちコーポレートガバナンス・コード基本原則4【取締役会等の責務】でいう『会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上』への視点でいかに取締役会が機能しているかの評価に、より重点を移すべきである、との認識のもと、評価の方法、進め方について議論しました。
- (2) その議論の結果、取締役各人による自己評価（＝アンケート回答）を実施し（3月～4月）、各人によるその評価をもとに、4月度、5月度、6月度の回の取締役会にわたり、評価の審議を行いました。
- (3) 評価の対象・内容（＝アンケート項目/計24質問）は以下のとおりです。
 - 1) 取締役会全体に関する評価
 - ① 取締役会の役割・責務（コーポレートガバナンス・コード基本原則4）
 - ② 前年度からの継続課題
 - ③ 役員トレーニング
 - 2) 取締役に関する評価
※前年度導入した「自己評価」に加えて、本年度は他の取締役（全体）に対する「相互評価」も導入しました。
 - 3) 取締役会議長の役割発揮状況に関する評価（新設）
 - 4) 執行役員の「職務執行状況」及び「取締役会付議・報告」に関する評価
 - 5) 取締役会事務局に関する評価
 - 6) その他（自由記述）

2. 本年度の分析及び評価結果の概要並びに今後に向けた取り組みについて

本年度の評価結果については、3度にわたる取締役会における活発な議論のもと、前年度評価にて認識された課題への対応も着実に進み(注)、当社取締役会は全体として有効に機能しているとの結論に至りました。

(注) 前年度評価にて認識された課題への対応

①中期経営計画遂行における①KPI、②重要施策の進捗状況(一覧)が、毎月(決算月除く)報告されている。

②各取締役会の重要テーマに係る過去資料(BOXリンク)が事前案内されており、閲覧できる。

③事業会社からの定期報告(及び審議)を以下のとおり実施した。

12月度:クラシテ、2月度:日本社宅サービス、3月度:スリーS、4月度:クラシテ不動産

併せて、執行状況の共有と監督については、改善・工夫の余地(例:執行役員による付議・報告の精度向上と、審議の充実等)があり、今後の継続課題として、さらなる取締役会の実効性向上に努めてまいります。

以 上